



毎日のお手入れ 「ハンガー&ブラッシング」 の習慣化



学校から帰ったら制服をハンガーにかけよう

- ★ ジャケットはハンガーにかけよう(型崩れ防止につながるよ)
- ★ ズボンやスカートは、はさめるタイプのハンガーで吊るそう



ズボンはベルトを外してハンガーに吊るそう。

軽いシワがある場合、霧吹きなどで水をかけるとシワがとれやすくなるよ。



ズボンは裾を上、スカートはウエストベルトにかけて吊るすと服の重みでシワをとる効果があるよ！

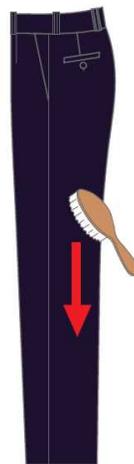
ウールには元に戻ろうとする性質があり、シワがついてもとれやすく、型崩れもしにくいよ。

ハンガーにかけたまま、ブラシをかけよう

- ★ 上から下へ、生地目の布目に沿って、サッサッとかきだすようにしよう。



肩や後ろ襟の部分は、髪の毛の汚れやフケが付着するので、重点的に！



ズボンも、上から下にブラッシングしよう。特に膝から下には汚れがつきやすいので、要注意！

スカートも、プリーツがシワにならないように、上から下にブラッシングしよう。



ウールが入っていれば、着続けてクタクタになった制服も、アイロンの蒸気をあててあげると、ふくらみを取り戻し、再びイキイキすることができるよ。



教えて!
ウールマン

シミがついたら、 すぐに落とそう!



落とし方は次の3つ!

「吸い取る」

裏面からティッシュなどで吸い取る

- ★ 表と裏にハンカチやティッシュ、ナブキンなどを当てて水分を吸い取ろう。



「つまむ」

粘り気のある汚れは
つまみ取る

- ★ カレーやケチャップなど、粘り気のあるものは上からつまみあげよう。



「たたく」

トントンたたく

- ★ 中性洗剤を溶かした洗剤溶液を含ませたブラシでたたいて、下のあて布にシミを移そう。



あて布を
ピンと
張る

シミや汚れが取れなかったら、
すぐにクリーニングに出そう!



ウールは繊維の表皮に特殊な薄い膜があり、
水をはじくため、汚れがつきにくいよ。

シミの原因	対処法
しょうゆ・ソース	ティッシュ等で吸い取り、中性洗剤でたたく
コーヒー・お茶	乾いた布で吸い取り、中性洗剤かぬるま湯でたたく
墨汁	ご飯粒に石鹼を混ぜたもので繰り返し揉みだし、石鹼で洗う
チョコレート	固形物をつまみ出してから、中性洗剤を水で含ませたものをたたいてしみを取る
チューインガム	氷などで冷やして固めて取り除く
泥はね	よく乾かして、ブラシか布で払う
果汁	水もしくは中性洗剤で取る

「雨で濡れたら」

- ★ 乾いたタオルでトントンと軽くたたくように水気を取ろう。
- ★ ハンガーにかけて風通しのよいところで陰干ししよう。





オフシーズンの洗濯と 正しい保管で ピカピカ長持ち



クリーニングに出す前に

- ★ 洗濯表示にしたがって、クリーニング方法を決めよう。
- ★ 汚れやシミがついている箇所と原因をお店の人に伝えよう。



上下対になっているものは風合いや色味に差が出ることもあるので、上下一緒に出そう。

**ウールにはドライクリーニングが最適！
家庭で洗えるウール製品もあるよ。**

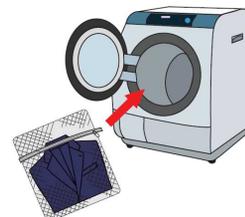
家庭洗濯の場合

- ★ 製品についている洗濯表示に従って洗おう。

2016年12月から新しい表示に変わります。

洗濯処理の記号		新規格JIS L 0001		記号の意味
番号	現行JIS L 0217	番号		
105		130		液温は30°Cを限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。
		131		液温は30°Cを限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。
		132		液温は30°Cを限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯処理ができる。
106		110		液温は40°Cを限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。
107		100		洗濯処理はできない。

- ★ ファスナーやボタンは、しめて裏返して洗おう。
- ★ 洗濯ネットに入れて、単独で洗ってね。(弱水流がオススメ)
- ★ 脱水時間は30秒程度にすると、型崩れ防止になるよ。



保管方法

- ★ クリーニングから返ってきたら、カビや変色の原因となるため必ず袋から出そう。
- ★ 変色しないよう、光が当たらず湿気のあまり無いところに保管しましょう
- ★ 防虫剤を入れ、カビや虫食いを防ごう。

